

発行日：2013年4月1日

知的障害者グループホーム「沙羅の家 大岡山」の開設に向けて

目黒区健康福祉部長 森 廣武



もえぎの会の皆様、こんにちは。皆様には、日ごろから目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、沼野後援会長をはじめとする後援会の皆様の力強いサポートも、大変頼もしく感じているところでございます。

さて、この4月から、障害者総合支援法が施行されます。この法律には、障害者基本法を踏まえた基本理念が条文に明記されておりますが、いずれも大切な理念だと思います。その中で私が特に注目しているのは、「どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと」です。

区は、これまでも障害をもつ人が、生まれ育ったこの目黒の地で、地域社会と共生しながら自立した生活を続けていくために、障害者計画に基づきグループホームの整備を進めてまいりました。現在、区内に11箇所(知的9、精神2)のグループホームがありますが、そのうちの2箇所は、もえぎの会の皆様が整備・運営する「沙羅の家」と「沙羅の家 向原」です。

そして、このたび大岡山一丁目の区有地を活用したグループホームの整備・運営をもえぎの会に担っていただくことになりました。もえぎの会として3つ目のグループホームとなる「沙羅の家 大岡山」は、平成25年9月以降の開設に向けて、現在着々と準備が進められているところです。日中活動の場である「しいの実社」の各種事業運営をはじめ、生活の場であるグループホームの整備・運営は、知的障害をもつ方々が、地域で生き生きと自立した生活を営むことに大きく寄与するものであり、もえぎの会のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、これからもますますのご発展を期待しております。



目黒川の桜

区といたしましても、障害福祉のサービス向上のため、様々な課題の解決に向けて、今後も引き続き取り組んでまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

2013年度 もえぎの会 事業報告会・懇親会のご案内

下記のように本年度の開催を予定しております。

7月13日(土) 目黒区総合庁舎 2階大会議室

改めて、ご案内をお送りいたします。ぜひ、お誘いあわせの上、ご出席していただきますようお願い申し上げます。



昨年の様子 音楽演奏

しいの実社 2013年度事業計画

年ごとに、極端に寒い日、暑い日が増え、穏やかな春や秋が少なくなっているように感じます。今年も、春の訪れが遅く感じましたが、3月に入り、春一番が吹き、季節は日々動いています。同じように、しいの実社や利用者さんも日々動き、変化し、そのエネルギーが活力となっています。

しいの実社もより安定し、成長したいと考えています。そのために、安定した組織運営体制、スタッフ間や事業所間の情報共有・課題共有、支援力の均一化・レベルアップなどの課題に取り組んでいます。さらに、利用者・家族との信頼関係の強化、長期的な視野に立った支援を実施したいと決意しています。

重点課題

3事業の運営となるが、基本的に仕事を中心とする支援を継続していきます。そのような中でも、利用者の高齢化や仕事や製品の変化にも対応する必要があります。高齢利用者に配慮したプログラム、生活や健康維持のためのプログラムを企画し、実施します。

就労継続支援B型事業

- 支援と生産のバランスを取る
- 利用者の特性・能力に合わせた仕事の見直し
- 継続した工賃の向上
- 高齢者の支援

生活介護事業

- 利用者の安定した生活のための支援
- 社員の特性に合わせた仕事の提供
- 体力の向上、生活の幅を広げる活動

就労移行支援事業

- 就労に向けた基礎知識の習得
- 生産維持と社会参加機会提供の両立
- 一般就労の実績

さらに、年間行事として社員旅行、しいの実祭、11施設交流会をはじめ、土曜開所による余暇活動などを実施します。また、利用者は年を重ねますので、健康診断、健康相談や体操など健康管理に配慮します。

地域に根ざした活動を継続し、学校の職場体験、見学やインタビュー、資格取得のための職場実習、商店街や町会のイベントへの積極的な参加などに対応します。利用者・家族が、安心し、地域や行政にも理解され、充実した生活が送れるように取り組みます。

雪かき - 思わぬ大雪、思わぬ体験 -

年明けの1月14日(月・祝)は成人式でしたが、東京は久しぶりの大雪でした。その影響で、15日(火)はたくさんの雪が残る中での通勤となりました。

通勤ルートの安全確保と地域への恩返しを兼ねて、朝からお昼にかけてしいの実社前の通りと学芸大学店前の雪かきをしました。慣れない仕事で、重労働でしたが、地域の人と会話を交わしたり、「ありがとう」と感謝の言葉を頂いたり、素敵な光景でした。参加した社員・スタッフの皆さん、お疲れ様でした。



第11回 しいの実祭 開催

昨年11月23日に第11回しいの実祭を開催いたしました。例年は11月の最終土曜日に開催していましたが、昨年は、3連休の真ん中となりましたので、初めて、金曜日の祝日の開催となり、いろいろ考える祭になりました。

前の年は、法人設立10周年という事で、「感謝」をテーマにしましたが、今回は、10年の節目を越え、新たな段階に踏み出しましたので、改めてしいの実社を知っていただくというコンセプトで企画しました。社員を知ってもらえるように社員の思いを貼りだし、来場された方がより社員と関われるために、社員とじゃんけんをしてスタンプを集める企画を実施しました。

あいにくの空模様で、雨対応に変更して実施しましたが、足元の悪い中にも関わらず、昨年を上回り1000人を超える方々にご来場いただき、盛況のうちに終える事が出来ました。

ご来場いただいた皆様・お手伝いいただいたボランティアの皆様、スペースをお貸しいただいた五十嵐電機様・白川電機様・大正鉄筋様・平研磨工業所様、販売に参加して下さった清水町会や他施設の皆様をはじめ、しいの実祭に関わっていただいたすべての皆様に御礼申し上げます。



しいの実 オープニング



大盛況のイベント



青木区長さんも御買い上げ



打ち上げ お疲れ様

就労支援プログラム

現在、スマイルプラザでは就労に向け、様々なプログラムを行なっています。日課として朝礼や日報記入などをしていますが、しっかりと定着し、作業へのメリハリが出てきました。

金曜日には一人一人の主体性を育て責任感を養えるよう、順番に外食を企画(自分でお店を選びます)・お知らせ作り・予約・当日の指示誘導など行ってもらっています。皆さん、自分の順番を心待ちにするとともに、その責任感を実感しているようです。

3月2日は、障がい者雇用を行なっている銀座の「スワンカフェ&ベーカリー」へ見学・食事に行きました。電車の乗り方や車内マナーを学ぶ良い機会となりました。また、カフェスタッフの方々の接客対応に感心をして帰ってきました。今後、

就労支援センターの方よりお話などしていただく予定です。これからも「外で働く」というイメージを持てるよう見学・実習などに取り組みたいと考えています。

多くの社員が、地域で働き、充実した人生を送ることができるよう支援するとともに、地域の皆様のご支援をお願いいたします。



スワンカフェ&ベーカリー前にて



食事会お知らせ作りをパソコンで作っています。ローマ字表を用いて一字一字探して打っています。

